

社会科（公民的分野）学習指導案

1 単元名

「現代社会の特色と私たち～現代社会は本当に豊かであるといえるのか～」

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、平成29年に告示された新学習指導要領の公民的分野「(2) 内容 A 私たちと現代社会 (1) 私たちが生きる現代社会と文化の特色」に対応し、設定した。学習指導要領においては、身につける知識として、「現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解すること」が挙げられている。また、身につける思考力、判断力、表現力等について、「少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現すること」が挙げられている。

学習指導要領の解説では、情報化については、「高度情報通信ネットワーク社会の到来により、世界中の人々と瞬時にコミュニケーションをとることが可能になったことや、「様々な情報が公開、発信、伝達される状況であることを理解できるようにすることを意味している」とある。媒体を通して大量の情報をやりとりができるようになることで生活が便利になっていくことと、逆に玉石混交の情報や情報媒体が増えたことで情報リテラシーや情報モラルの必要性になっている事実を気づかせていきたい。少子高齢化については、「近年の少子化の進行と平均寿命の伸長によって、我が国の人口構造が変化し、世界で類を見ない少子高齢社会を迎えていることや、少子化が一層進み人口減少社会となっていることを理解できるようにすることを意味している」とある。今後日本の人口に占める高齢者の割合が増え続けていくことが予想され、世の中が変わっていく中で高齢者が生活の質を高めるために必要なことは何かを捉えさせていきたいと考える。そこで、情報化とのつながりに触れ、一歩進んだ未来の情報化に気づかせたい。グローバル化については、「大量の資本や人、商品、情報などが国境を越えて容易に移動することができるようになり、それに伴い国内外に変化が生じていること、各国の相互依存関係が強まっていること、共存のために相互協力が必要とされていることを理解できるようにする」としている。21世紀に入り、世界経済はWTOなどの国際的な枠組みを生かし、関税などの障壁を取り除いて物流をスムーズにするなど、一体化していく中で経済を発展させてきた。その結果として生じた日本経済や国民生活への影響について考えさせていきたい。以上のように、本単元では、現代社会の特色について3つの面から考察することとする。また、それぞれの面について、「光」と「影」の観点から多角的に考察し表現していくことができるように単元を考察していくこととした。

情報化は1990年代半ば以降、インターネットや携帯電話の普及に伴い、情報社会や情報化社会の語、概念として広く用いられるようになったが、着想は1960年代前半にまで遡る。その概念は未来の社会像として予測、あるいは提案するべく用いられる場合もあり、現代社会の特徴とされている。情報化社会は、情報が大切にされ、情報により物事を判断し、管理していく社会であり、その発展にはインターネットによる情報の流通により、大きく発展を遂げた。インターネットができ、世界各国との情報のやり取りが容易に行われ、その情報量は膨大で、その情報をすぐに共有し、発信するが可能となる。リアルタイムに必要な情報が行き来するので、必然的に様々な時間短縮につながり、人々の生活はありとあらゆる場面で豊かになってきた。例えば、インターネットショッピングの普及は人々が買い物に出

かけなくとも商品が手に入るようになった。電子マネーの普及は現金のやり取りなしに買い物ができ、キャッシュレス化はますます進んでいく。海外に目を向けると、中国では気が付くと瞬く間にキャッシュレス化が普及し、アリババ、バイドゥといった巨大企業が育っていった。今や、中国の大都市では自動販売機はもちろんのこと、タクシーや屋台での支払いも現金では支払わない、キャッシュレス社会が構築された。キャッシュレス社会では、モノの代金は全てサイバー空間で取引され、一人一人の過去のすべての購買の履歴はビッグデータとしてストックされる。これを可能とするのが、人工知能（AI）である。そのビッグデータを活用し、人々の生活にフィードバックできる時代が今後やってくる。2016年1月22日に閣議決定された「第5期科学技術基本計画」で、提唱された「Society5.0」という概念である。このように私たちの暮らしや労働の仕方は変化し、価値観やものの考え方も新しいシステムになじむように変わる一方、情報化にはプライバシーの侵害や情報漏えいの問題、不正なアクセスによるサイバーテロなどの国際問題に発展しかねない重要な課題もある。生徒の身近にある情報リテラシーや情報モラルに関わる問題も含め、生徒には情報化の進展にはマイナスの側面があることに気づかせたい。

日本は現在、少子高齢社会を迎えている。第二次ベビーブーム以降ほぼ毎年のように下がる出生率は1.5を切り、高齢者は年々増加している。2025年には日本の人口の5人に1人は75歳以上の後期高齢者が占める超高齢社会に突入する。未婚率の増加や晩婚化、医療の発展に伴う平均寿命の伸びなどが主な原因とされている。少なからず地方が衰退し過疎地は増えるが、大都市にはさらに人が集まり過密化し、交通渋滞の悪化、都市型大規模災害リスクの増大といった問題を生む。また、人が大勢いるはずの大都市であってもサービス労働の不足は深刻化している。それは、労働賃金が高いわけではなく、非正規雇用の若年貧困層が増え、少子化に拍車をかけている。生産年齢人口の減少により税収は下がり、一方でインフラは老朽化し、必要な維持費は増え続けている。高齢化による社会保障コスト増とあわせ、生産年齢人口の負担はますます重くなる。地方の若者達が来ることで繁栄を生み出している東京でも少子化の影響で流入が減り、さらには高度経済成長期に東京へ集まってきた人々が一斉に高齢世代へと差し掛かる、「住民の高齢化」が深刻な問題になっている。こうした高齢者の集中は、介護施設に入れない「待機老人」を劇的に増加させたり、介護を受けたくても受けられない「介護難民」の出現を促したりする。さらには、医療機関の受け入れが困難になる「医療難民」の問題が顕在化するとされている。この状況を解決し、これからの日本の社会で高齢者が豊かに暮らしていくためには、情報革新が不可欠であると考えられる。情報化で触れたSociety5.0の社会では、遠隔医療や介護ロボットの登場により、健康促進が促され、高齢者がより良く生活できる環境を整える。医療機関、介護施設に移動が難しい状況でも自動運転技術の向上により、移動弱者である高齢者を助ける社会が期待される。状況が深刻化する少子高齢化社会で、豊かになっていく社会の側面を生徒に理解させていく。

グローバル化とは、財・サービス、資本、労働者、情報、技術、制度などについて国境を越える移動が可能になる、あるいは容易になることである。世界では経済のグローバル化が急速に進んでいる。例えば、インターネットの発達により、海外へ電話やメールをすることが日本国内でやりとりするのと同じような便利さや費用でできるようになった。グローバル化を最大限に活かした例として、ユニクロは、商品販売時にバーコードを読み取るPOS（POS）システムによって各店舗の売れ行き状況を瞬時に把握し、それに基づいて生産計画を立てるようになった。そして、人件費の低い中国や東南アジアなどの工場へ設計図を送って生産をする。これにより、高品質の衣類を日本の流行に合わせて短期間で製造・流通させている。このように技術の発展は、経済のグローバル化を進展させ、私たちは海外で作られた

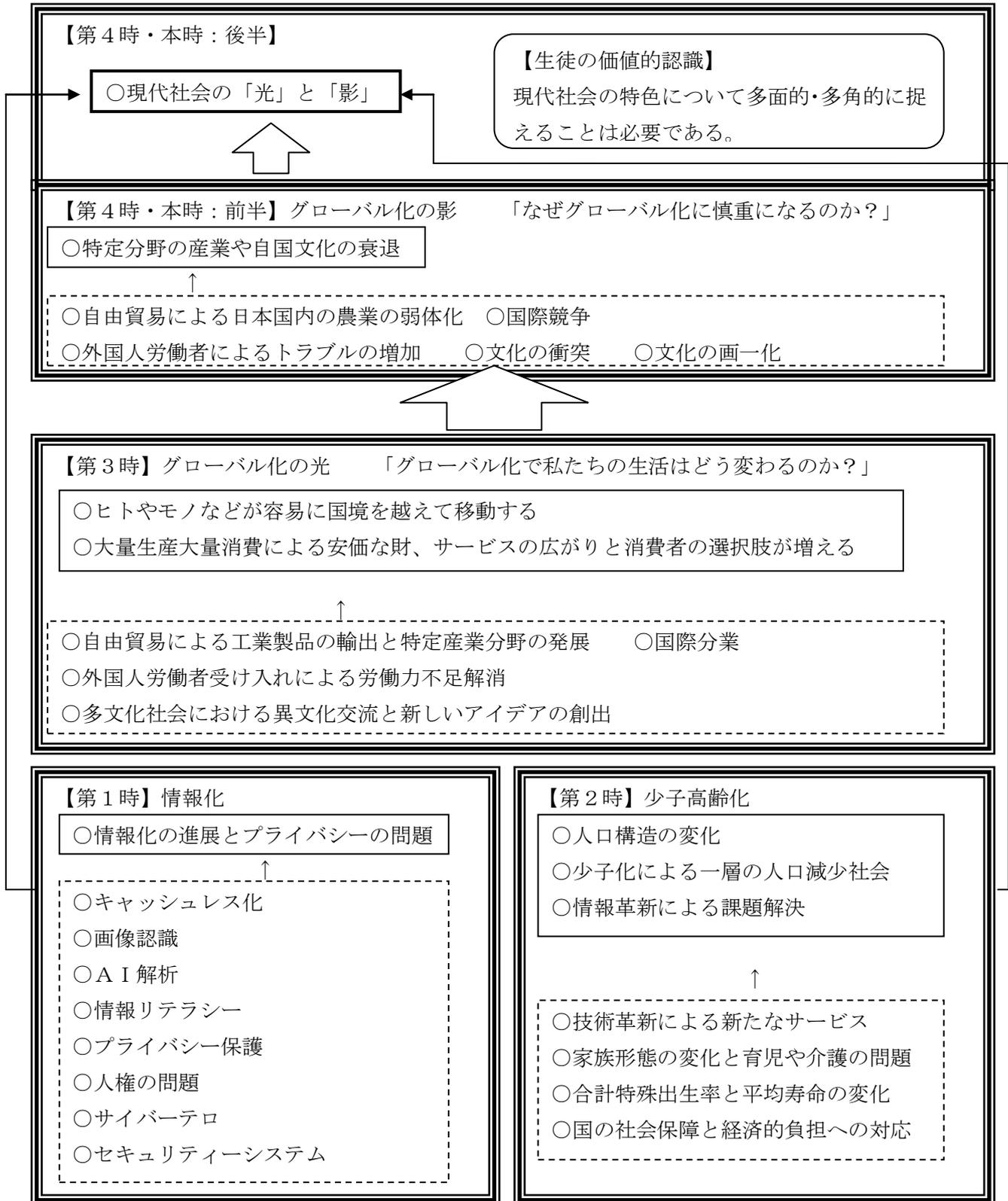
安価な製品を大量に消費できるようになった。だが、経済のグローバル化は、経済活動において、厳しい競争圧力をもたらした。例えば、日本では農産物の輸入が拡大したため、消費者は海外の安価な農産物を消費する機会が増えた。これが大きな原因となり、国内産の農産物は販売量が減少し、価格も低下した。その結果、農家の収入が低下し、若者が農家の仕事を継がない。2017年における農業就業者の平均年齢は66.7歳となり、高齢化が進んでいる。以上の点から、経済のグローバル化により、日本の農業は深刻な弱体化を迎え、食の安全保障の観点からも国家の危機的な状況とされている。また、少子高齢化の煽りを受け、労働人口不足を解消しようとする日本では外国人労働者を受け入れようとしている。人手不足の農業分野や今後2020年の東京オリンピックに向けた土木建築関係の分野ではその力に期待を寄せる。しかしながら、日本ではおよそ40%が外国人労働者受け入れ拡大に反対の意を示していることが世論調査で明らかになっている。それは、地域社会へのトラブル増加や文化の衝突から自国文化が消滅してしまうのではないかと、という恐れからである。このように、経済のグローバル化は、私たちの生活や仕事に恩恵をもたらすが、その一方で、悪影響を与える。必ずしも、歓迎すべきものではないが、技術などの様々な発展はグローバル化の進展を促すものであり、まさに「光」と「影」を持ち合わせていると言える。

以上を踏まえて、本時となる第4時では次のような構成をとる。前時のグローバル化によるメリットを想起させた上で、本当にグローバル化は良いものばかりであるのかを考えさせる学習を展開する。導入で2つの資料を活用し、学習課題「なぜ日本ではグローバル化に慎重な立場をとるのか」から、グローバル化の影に迫り、単元のまとめとして現代社会の特色を多面的・多角的に捉えさせていきたい。展開の中では、学習課題に迫るため、個人やグループで関連資料を読み取ることでグローバル化を受け入れられない理由を考えさせる。「安価な外国産の農作物輸入により、農業分野が弱体化すること」「外国人労働者を受け入れることで起きるトラブル」「自国の文化が廃れ、文化が画一化されていくこと」などを読み取ることで、前時に行った授業で得た理解とは違うグローバル化の側面が見えるだろう。このように、現代社会では国が発展し豊かになっていくだけでなく、経済発展には課題があることに気づかせていきたい。また、単元のまとめとなるので、「情報化」や「少子高齢化」にも二面性があったことを考えさせていきたい。さらに、まとめていく中で二面性だけでなく、その国の立場の違いなどから捉え方や考え方が変わることを情報化やグローバル化との関わりから、多角的に捉えることができるようにしたい。その上で、今回の単元が公民の導入部であり、今後の公民学習の中で、多面的・多角的に捉える視点を持たせていけると考える。

3 単元の目標

- ・現代社会の特色である「情報化」「少子高齢化」「グローバル化」に興味を持ち、進んで考えることができる。 (主体的に学習に取り組む態度)
- ・現代社会の特色には二面性があることを「情報化」「少子高齢化」「グローバル化」から考察することができる。 (思考・判断・表現)
- ・現代社会の特色をグラフや資料、写真などから読み取ることができる。 (知識・技能)

4 思考の深化に対応した単元の指導計画



5 本時

(1) 本時の目標

- ・グローバル化について慎重な理由を、産業・移民・文化に触れて考察することができる。
- ・情報化・少子高齢化・グローバル化から現代社会の特色を多面的・多角的に捉えることができる。

(思考・判断・表現)

(2) 本時の「主体的な学び」

- ①「自由貿易」という「アメリカの理想」と後退トランプ大統領の写真や資料からグローバル化に対して否定的な立場をとる国があることを理解させる。また、その国の立場によって、グローバル化のとらえ方が変わることにつづかせる。

*Yahoo ニュース 2018.8.23



- ②労働力受け入れ 残る不安 *読売新聞 2019.5.5

資料から日本人の外国人労働者の受け入れには賛否両論あり、反対と考える人が約半数いることに気付かせ、学習課題を提示する。

*円グラフで表記

【賛成：57% 反対：40%】

(3) 本時の「対話的な学び」

- ①日本の農産物の生産額及び輸入額 *『グローバル化の「光」と「影」』参照

国内農産物の生産額が減少しているのに対し輸入が増加していることを読み取らせ、日本の農業が外国産に頼り、国内農家が衰退してしまう恐れがあることに気付かせる。

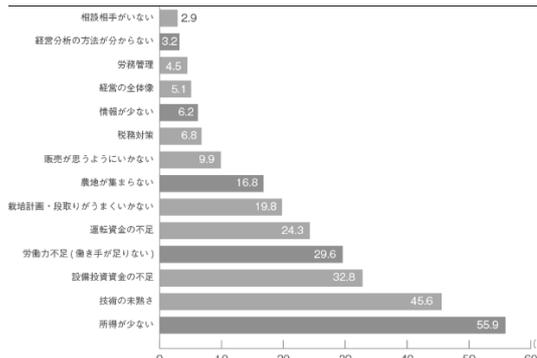
- ②外国産と国内産の価格比較 *スーパーマーケットの価格表示

安価な外国産と高価な国産を比較することで、国産が売れなくなる予想を立てさせ、国内農家がどうなるか考えさせる。



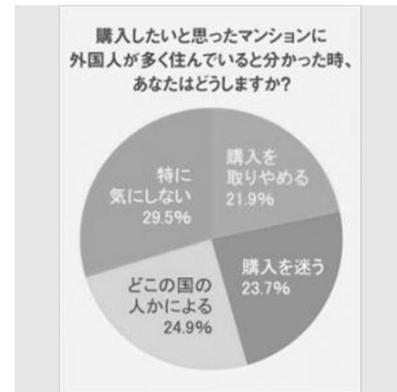
- ③農業所得で生計が成り立っているのか *全国農業会議所 平成28年度調査

国内農家が農業所得で生計が成り立たないと考えている割合が高く、生活できるか不安な状況を考えさせる。農家の生活が不安であることに気付かせる。



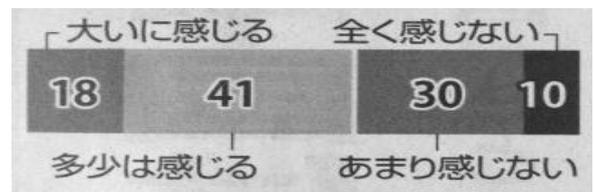
④「外国人トラブル」に関する実態調査 *産経ニュース 2015.11.19

約7割が、外国人が多くいるマンションに住むことをためらうことから、コミュニケーションの不安やトラブルになるかもしれないということを予想させる。



⑤外国人に介護してもらうことに抵抗を感じるか
半数以上が抵抗を多少なりとも感じてしまうことを読み取らせる。日本人と外国人との違いや漠然とした不安があることを理解させる。

*読売新聞 2019.5.5



⑥京都のトリセツ *京都観光NAVI

外国人への観光案内のパンフレットや入浴マナーの資料から、外国人に対してマナーやモラルを守ってもらいたいということに気付かせる。外国と日本のマナーに違いがあることを気づかせる。



⑦KFCから見たスフィンクスとピラミッド
世界的に広がるファーストフード店から見える古代文明の姿から、自国の古くからある景色の良さが消えてしまうかもしれないことに気づかせる。



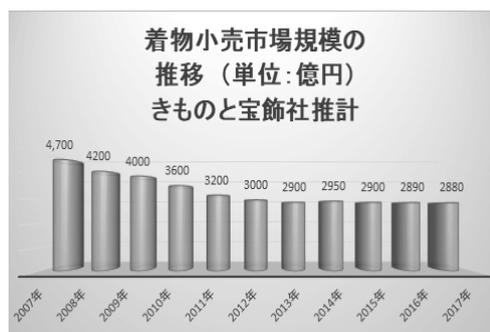
⑧東京都市開発。本当にそれでいいの？

開発写真と記事を参考に自国の昔ながらの文化が消滅してしまうことを読み取らせる。

*vol,9 TOKYO NUDE



- ⑨着物文化の衰退とファストファッションの流行
 着物業界が売り上げを落としていることを読み取り、H&Mの広告から自国の文化が衰退し、消失するかもしれないことを考えさせる。



(4) 本時の展開

時配	学習内容と課題	留意点 (○) 及び評価 (◇)
導入 10分	<p>○前の時間に行ったグローバル化の良い点を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由貿易で安い工業製品が手に入る。 ・働き手不足を外国人労働者で対応できる。 ・異文化理解が深まり、多文化共生の社会になる。 <p>○2つの資料を読み取り、グローバル化が受け入れられていないことを理解する。</p> <p>①トランプ大統領の資料</p> <p>②外国人労働者受け入れ拡大について</p>	<p>○前時のことについて時間をかけずに想起させるため、前時で出たグローバル化の良い点を模造紙にまとめておく。</p> <p>主体的学び</p> <p>○1つずつ資料を提示する。</p> <p>○2つの資料に共通していることが何か考えさせる。</p> <p>○可視化しやすい資料を使う。</p>
課題把握	<p>なぜ、グローバル化に対して慎重な立場をとる人々がいるのだろうか？</p>	
展開 30分	<p>○配布された資料をもとに、グローバル化に対して慎重になる理由を個人・班で考え、ワークシートに記入する。</p> <p>主体的学び 対話的学び</p> <p><予想される答え> A：産業</p> <p>①日本の農産物の生産額が減少し、輸入額が増えている。 →自由貿易で外国産の農産物が増えた。</p> <p>②外国産の方が価格が安く、国産が高い。 →消費者が国産を買わないと農家の所得が上がらない。</p> <p>③農業所得だけでは成り立たない。 →所得が少ない職業になりたがらない。 国産の農産物は無くなってしまいかもしれない。</p> <p>自国産業（農業）が衰退する。 自由貿易はよくない面もある。 日本の経済に悪影響を及ぼす。</p>	<p>○ワークシートを配布する。</p> <p>○手順を具体的に説明する。</p> <p>○それぞれ関連する資料を読み取る。</p> <p>○資料から考えられることを個人で記入し、話し合う活動の材料にする。</p> <p>○グループでの話し合いは適宜机間指導を行う。</p> <p>○意見を聞きメモを取らせる。</p> <p>○学習課題を常に意識させるようにする。</p>

<p>まとめる 10分</p>	<p>B：移民</p> <p>④約7割の日本人が外国人の多く住むマンションに住みたくない。 →マンショントラブルやコミュニケーションがとれない。面倒くさい。</p> <p>⑤○日本の外国人労働者の推移 →年々上昇する。 ○外国人による介護への抵抗 →コミュニケーションが取れない。 指示がわからなくて不安。ルーズ。</p> <p>⑥観光に来る外国人への案内 →マナーが悪い。日本の文化がわからないでトラブルになる。</p>	<p>(展開の細かな流れ)</p> <p><u>○個人で資料を読み込む。<10分></u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・3人1班で同じ内容の資料を読む。 ・1つの紙に3つの同じ分野の資料を入れる。 <p><u>○3人班でそれぞれ読み込んだ資料の発表を行う。わかること、考えたことを発表する。その後、それぞれの資料から学習課題について考える。<10分></u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ資料だけど、班で意見が同じだったり、違ったりすることを確認する。 ・なぜグローバル化に慎重なのかを意識した答えを考える。
	<p>コミュニケーションの心配。日本のルールやマナーを守らない。トラブルが増える。考えが違う。不安になってしまう。</p>	<p>○机間指導をしながら、上記のことを意識させる。</p> <p>○資料について読みとれない生徒には、わかることを書かせる指導をする。</p> <p>◇グローバル化について慎重になる理由を、「産業」「移民」「文化」に触れて、考察することができたか。</p>
	<p>C：文化</p> <p>⑦スフィックスの目の前にKFC →違う地域の文化が景観を変えている。 どこでも同じ食べものがある。</p> <p>⑧東京都市開発。これでいいの？ →どこの風景も同じようになり、自国の昔ながらの風情がなくなる。</p> <p>⑨着物衰退とファストファッション</p>	<p>○違う分野を調べた生徒にもわかるように黒板にホワイトボードを貼りながら、教師主導で説明する。</p> <p>○ワークシートに、自分が調べた分野以外でグローバル化に慎重な理由を簡単に書かせる。</p> <p>○「産業」「移民」「文化」と関連づけてまとめさせる。</p> <p>◇情報化・少子高齢化・グローバル化から現代社会の特色を多面的・多角的に捉えることができたか。</p>
	<p>その国らしさが消えていく。 日本文化がなくなってしまうかもしれない。</p> <p>○各班で発表し、学級で共有する。</p> <p>○それぞれの分野からグローバル化に慎重なポイントを読み取らせる。</p> <p>○それぞれの分野と関連づけて、グローバル化に慎重な理由をまとめる。</p> <p style="text-align: center;">主体的学び</p> <p>○単元4時間を通して、わかったことをまとめる。</p>	

(5) 本時の評価

- ・グローバル化について慎重な理由を、産業・移民・文化に触れて考察することができたか。
 - ・情報化・少子高齢化・グローバル化から現代社会の特色を多面的・多角的に捉えることができたか。
- (思考・判断・表現)

6 思考の構造図

【事実に認識の第3段階】

現代社会の特色には、情報化・グローバル化・少子高齢化がある。国民の生活が変化し、より便利に、豊かになる一方で、国家の危機的な状況が生まれる現状がある。

【価値的認識】

現代社会の特色に見られる二面性から、我々は物事を多面的・多角的に捉えることが必要である。

【現代社会の特色における事実に認識の第1段階・第2段階】

A 情報通信技術（ICT）が発達すると、多様な情報を大量に入手し、共有し、発信できる便利な社会になるが、プライバシーの侵害や情報漏洩問題が発生する。

- a 消費者がクレジットカードや電子マネーを使い、現金のやり取りなしで買い物ができる。
- b 人工知能（AI）やビッグデータを活用することで、膨大な情報を解析し、人々の生活にフィードバックすることが今後できるようになる。
- c 5Gになり、画像認証技術が進展すると、リアルタイムの自動健康診断などで、健康促進や病気の早期発見が期待できる。
- d 大量の情報の中には、個人に関わる情報や不正な情報が紛れていることがあり、正しく活用できない場合、人権問題に発展する可能性がある。
- e サイバーテロのような国の安全保障を揺るがす問題が発生するかもしれない。

B 人口構造の変化により、少子高齢化社会がより一層進むが、情報革新により、高齢者の生活が質の高い豊かなものになっていく。

- a 合計特殊出生率が低下し、高齢者の割合が増加している。
- b 共働き世帯や、高齢者だけの世帯が増加したことで、育児や介護に関する問題が発生している。
- c 遠隔医療や介護ロボット、見守りサービスなど、医療介護分野において技術革新を生かした新たなサービスが登場している。
- d ドローンによる配送や、自動運転技術によって、移動弱者である高齢者の生活をサポートすることが期待できる。
- e 現役世帯が減少する中で、経済的な負担への対応と社会保障の充実をどのように両立させるかが、課題である。

C グローバル化が進み、ヒトやモノなどが容易に移動できるようになることで、安価な財やサービスが広がるが、特定分野の産業や自国文化が衰退してしまう恐れがある。

- a 大量の資本や人、商品、情報などが国境を越えて容易に移動することをグローバル化という。
- b 商品の輸出入が簡単になることで、国際競争が加速するが、競争力のない国は外国からの輸入にたよることで国際分業が行われ、互いに依存し合うようになる。
- c 貿易の自由化は日本の工業製品の輸出を拡大させたが、それと同時に農業の弱体化を生んだ。
- d 安価な労働力を求め、企業が海外に拠点を置くことで、安価な工業製品を生み出している。
- e 外国人労働者の受け入れは、人手不足・労働力不足を解消させるが、トラブル増加が懸念される。
- f 異文化交流が図られ、新たな文化が生まれるが、一方で文化の衝突や文化の画一化が起こる。